

平成 30 年度 自己評価結果公表シート

学校法人 森内学園
幼保連携型認定こども園 花園幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・健康・安全で幸福な生活のため基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培う。
- ・人への愛情や信頼感を育て、自立と共同の態度および道徳性の芽生えを培う。
- ・自然などの身近なことへの興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- ・日常生活の中で、言葉や数に対する興味や関心を育て、喜んで話したり聞いたり考えたりする力を培う。
- ・多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・意欲的に取り組んだ結果、園児が自信を持って行動できる機会を数多く用意し、園生活を充実して過ごせるように取り組む。
- ・当園での教育・保育について、そして当園での子どもの育ちについて、保護者へ今まで以上にわかりやすく説明し、家庭との連携を強くし、教育効果向上に努める。
- ・園児が今まで以上に主体的に活動に取り組めるよう努める

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育課程・指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none">・教育・保育に係わる全ての教職員出席のもと、1年間の基本的な取り組みについて共通理解をはかっている。・毎月1回、園長・教務主任・各学年主任のもと指導計画について話し合い、各学年ごとに指導計画を作成している。幼児の主体性を尊重し、幼児の成長を一番に考え指導計画を作成することができた。・園舎の一部改築が終わり、新しい園舎での教育・保育を開始した。安全で効率的に教育・保育を行うことができるよう努めた。また、園児が主体的に活動に取り組める様に園舎および園庭の活用について職員間で議論を進め、様々な取り組みを実施した。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none">・幼保連携型認定こども園移行に際し、2歳児用の保育室を改

	<p>装した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭に設置していたブロック塀を老朽化のため撤去し、耐震性を考慮し、新たにフェンスを設置した。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・平常保育終了後・長期休業中の預かり保育・園庭開放を実施した。両親が就業されている保護者の方が増えているので、長期休業中の預かり保育実施日数を増やした。 ・預かり保育については、保護者が安心して利用出来る様に、安全で園児がゆとりを持って過ごせる様に配慮し保育を行った。 ・園庭開放については、子育て中の保護者・地域の方々に安全で安心して子どもと楽しく遊んで頂けるよう計画した。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者総会並びに、定期的に個人懇談会・参観等を実施し、園児・保護者・保育者の信頼関係の構築に努めている。 ・保育のねらい・教育効果等について、保護者に理解を深めて頂くために、園だより・お知らせ等について詳細に記載するとともに、行事等の際には、現在の園児の様子や取り組み等ができる限り詳細に説明を実施した。 ・後援会との連携を密にし、会議においては園の考え方や取り組み、子どもの育ち等を詳しく説明し、後援会活動に協力いただけるように努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>自己点検・自己評価の結果をふまえ、チェックリストを改訂した。その結果、昨年度以上に園全体で取り組むべき課題や教職員個々の課題について把握することが出来た。</p> <p>その結果、教職員が一丸となって、教育目標・指導計画の達成への取り組みについて共通理解を深めることができた。さらに、教職員が幼児教育に携わり、充実感・やりがい・喜びを大いに感じられる様一人一人が高い意識を持ち取り組むことが出来るようになった。</p> <p>また、本年度も、全保護者へのアンケートを年度末に実施した。その結果、保護者のニーズ・本園において今後取り組んでいく課題を明確に把握することができ、より一層の教育効果の向上・保護者の満足度の向上が期待される。</p> <p>自己評価、アンケート結果、学校関係者評価委員会・保護者からのご意見について話し合うことを通して、今後の課題への取り組みを教職員が共有することができ、教職員が一丸となって今後の課題へ取り組むことによって、より一層の教育効果向上と保育の充実を図ることが出来る。</p>

5. 今後取り組むべき課題

教育課程・指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに、教職員間で共通理解を深めるとともに、教育課程・指導計画書の作成についてさらに見直しを進め、教育効果の
--------------	---

	<p>向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の個々の特性、家庭環境等子どもの実情をさらに把握し、それをベースにして、日々の教育・保育を計画し実践していきたい。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 9 月から、週 4 日自園調理給食の提供を開始した。今後は調理員の方々と連携を深め食育活動に取り組みたい。 ・年度末に保護者の方にお願したアンケートにて、昨年度に引き続き、農園での活動が高く評価されたので、野菜等の栽培・収穫・試食体験等を通じての食育活動を拡張していきたい。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、外部講師を招いて、年 2 回の園内研修を実施。 ・大阪府私立幼稚園連盟主催の研修会に積極的に参加し、研鑽を積んできた。 ・今後も、教職員が個々の課題を見据え、研修に取り組みやすい様環境を構築していく。また、保育者がお互いの保育を参観する等の園内研修の機会をさらに確保するとともに、あらゆる角度から教育・保育の技術向上のため、より一層研修に努める。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに子どもの活動や導線等を把握し、子どもたちの年齢にも配慮し使いやすい様にまた、主体的かつ意欲的に活動できるよう配置等について再考したい。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の保護者、地域の方に対して、教育・保育の情報発信基地となれるように、また、求められているニーズに応えられるよう、子育て支援を充実させる。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの様々な相談等に、丁寧で出来るだけ保護者に寄り添った対応を出来るよう教職員で協力する体制を構築する。 ・後援会・家庭との連携をますます強め、子どもの育ちを第一に成長を支えていただけるように努める ・幼稚園に求められているニーズが多様化していく中で、様々な角度から、保護者のニーズを確認し、本園の今後のビジョンを検討していく。

6. 学校関係者の評価

- ・令和元年 6 月 19 日(水)に学校関係者評価委員 11 名の方に、「平成 30 年度自己点検・自己評価」・「平成 30 年度保護者アンケート」の結果をもとに学校評価を実施して頂きました。

・総評

普段の教育・保育も参考にさせていただき、適正な運営がされているとともに「自己点検・自己評価」においても、適正であると評価いただきました。今後も花園幼稚園らしさを大切に、すこやかな子どもの成長のために、努力を続けてくださいとのご意見を頂きました。

・頂いたご意見

園への連絡方法等について様々な方法があることを保護者の方に周知することによって、より保護者の方がより園へ相談しやすくなったり、家庭との連携を深めることができるのではないのでしょうか。

給食試食会実施に際し、参加された保護者の方へのアンケートを実施することにより、より給食の充実がはかれるとともに、食育活動についてもより理解が深まると考えます。

7. 財務状況

当園は毎年、年3回、公認会計士による監査を実施致しております。本年度も適正に運営されていると認められています。